

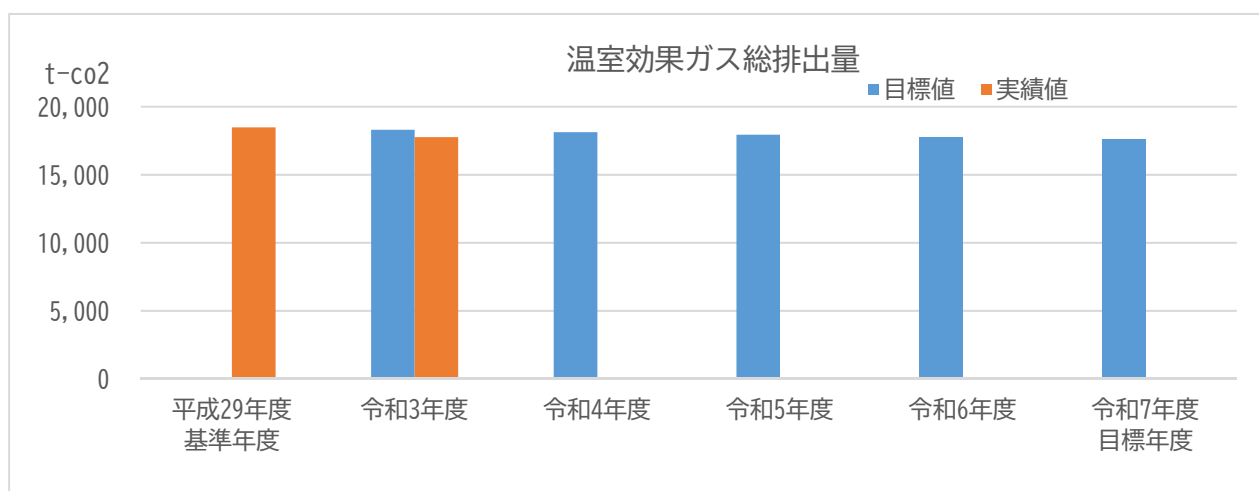
西北五環境整備事務組合地球温暖化対策実行計画 令和3年度点検・評価結果報告

令和4年4月27日

西北五環境整備事務組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、「地球温暖化対策実行計画」を令和2年度に策定し、組合の事務事業で排出されるCO₂（温室効果ガス）の削減に取り組んでいます。

「西北五環境整備事務組合地球温暖化対策実行計画」（R3～R7）」に基づき、令和3年度に実施した当組合の事務事業において、温室効果ガス排出量の点検・評価を行った結果、令和3年度の温室効果ガス排出量は、基準年である平成29年度実績の18,490t-CO₂に対し、17,764t-CO₂となり、710t-CO₂の減少となりました。

温室効果ガス 総排出量	目標値 (t-CO ₂)	実績値 (t-CO ₂)	増減率(%)	平成29年度比(%) 目標値-5%
平成29年度	—	18,474	—	—
令和3年度	18,289	17,764	▲3.8	▲3.8
令和4年度	18,105			
令和5年度	17,920			
令和6年度	17,735			
令和7年度	17,550			



区分		平成29年度 (基準年)	令和3年度	増減	増減率(%)
電気	千kwh	5,882	4,730	▲1,152	▲19.6
A重油	ℓ	23,975	4,553	▲19,422	▲81.0
ガソリン	ℓ	1,119	813	▲306	▲27.3
軽油	ℓ	234	174	▲60	▲25.6
一般廃棄物中の廃プラスチック焼却	t	5,756	5,552	▲204	▲3.5